

令和7年度 看護職の働き方改革推進フォーラム アンケート結果

開催日時：令和7年10月28日（火）13時00分～16時00分

開催場所：リンクステーションホール青森 5階 大会議室

事例発表：① 有料老人ホーム・訪問看護ステーションひだまり家 佐々木 栄子

② 青森市民病院 副看護局長 木村 かおり

③ 青森県立中央病院 主幹看護師 萬谷 暁春

④ 津軽保健生活協同組合津軽医院 主任 佐藤 綾子

⑤ 八戸市立市民病院 看護師 長畑 典子

⑥ 青森県立中央病院 看護指導監 雪田 千鶴子

講師：公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課 高橋 良成

参加者数：30人

アンケート回答：20人

回答率：67%

1 年代

40歳代	5
50歳代	12
60歳以上	3
合計	20

2 職位・職種

看護部長・総看護師長等	5
副看護部長・副総師長等	2
看護師長等	9
副看護師長・主任等	2
一般看護職	2
合計	20

3 勤務施設

300床以上の病院	13
299～100床の病院	3
100床未満の病院	4
合計	20

4 参加動機（複数回答）

新しい知識を得たいから	6
職場での悩み、問題を解決したいから	8
テーマに興味を持っていたから	15
講師に関心があったから	1
上司又は同僚にすすめられたから	1
その他	1
合計	32

5 内容について

非常に良かった	4
良かった	14
あまり良くなかった	2
合計	20

その他・・・自施設の発表があったため

6 ご意見・ご感想

- ・ 制度など知らない内容が多くとても勉強になった。それぞれの施設の業務改革や取り組みを知り参考になった。
- ・ 各施設の取り組みを聞き、自施設でも取り組めることがあるなあ、と感じることができた。検査説明の件は前向きに取り組んでいきたい。他施設の頑張りがわかり、前向きな気持ちになった。
- ・ 他施設の取り組み内容を聞くことができて、よかった。参加者が少ないため、何かの研修等と一緒にやるとか開催方法の検討が必要ではないかと思いました。
- ・ 他院での取り組みを知ることが出来た。病院間の連携を通して、情報の共有ができるので、とても助かります。柔軟な働き方を検討していこうと思います。
- ・ 他の施設の取組を知れて良かった。講義は、最新の情報を得る機会になったが、事例があれば更に良かった。講義を受けて、グループワークをすれば、更に深めることができた。
- ・ バッチワークのような勤務を考えていくことも必要とありました。勤務表作成で大変な時間と労力を使う中、育児休業あけのスタッフの働き方等をさらに強化して勤務を組み立てていくとなると、補助がなければ難しい、さらに大変になると感じました。
- ・ 今回の研修に参加し、感じた事は看護師の働き方改革と言うよりは、患者の不都合、困り事に対しての対策、対応の発表が多かったように思う。確かにそこを解決出来たから看護業務がスムーズになった点もあるだろうが。大規模病院では予算面でも対応できるだろうが、マンパワー不足、予算の制限がある病院では難しい面もあると感じた。

